

令和5年度第1回地域福祉推進委員会会議録

日時	令和5年 8月31日(木)午後1時00分～午後2時45分
場所	産業会館1階 多目的ホール
参加者	<p>委員：加藤委員長、岡野委員、宮本委員、奥西委員、工藤委員、 守本委員、田實委員、岸本委員、海老名委員、奥田委員、 山上委員、堀田委員、緒方委員、俣委員、西委員、中村委員、 土井委員</p> <p>(欠席委員：武藤委員、迫委員、桶屋委員、神野委員、西村委員、藤田委員)</p> <p>事務局：波戸瀬福祉こども部長、星川健康長寿部長、 柏木福祉こども部副部長、河田地域福祉課長、 鶴谷地域援護係長、信楽主事、 社協：島崎事務局長、土田事務局次長</p> <p>傍聴者：なし</p>
事務局	<p>◆次第1 開会</p> <p><各委員が座席表のとおり着席していることを確認></p> <p>定刻となりましたので、始めさせていただきたいと思います。 本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。 私、事務局を担当しております、地域福祉課長の河田でございます。 今任期初めての委員会となりますので、委員長が決まりますまでの間、進行を務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>◆次第2 委嘱状交付</p> <p>開会に先立ちまして川口副市長より委嘱状を交付させていただきます。 皆様方のお席まで順次伺いますので、お名前をお呼びいたしましたら、 その場でご起立をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;"><副市長より順次、委嘱状公布></p> <p>◆次第3 副市長あいさつ</p> <p>ありがとうございました。続きまして、川口副市長より開会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。</p> <p style="text-align: center;"><副市長あいさつ></p>
副市長	<p>改めまして皆様こんにちは。ご紹介いただきました宇治市副市長の川口でございます。</p> <p>本日は令和5年度の第1回となります、宇治市地域福祉推進委員会を開催いたしましたところ、大変ご多忙の中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p>

副市長	<p>また、ご出席の皆様におかれましては、委員会委員への就任につきまして、快くお引受けをいただきますとともに、平素より宇治市政の推進に関しまして、本当に温かいご協力、ご支援を賜っておりますことに対しまして、この場を借りて改めて御礼を申し上げる次第でございます。</p> <p>さて、ご承知のように、人口減少、少子高齢化という大きな、時代の流れになかなか歯止めがかからない、一方では、東京一極集中と言われるような、地域間格差がますます拡大している。こういう中で、持続可能で生き生きとした地域づくりを進めていくためには、やはり、行政のみならず、地域に暮らす全ての方々が、地域社会の一員としての役割を持っていただき、また、支え合いながら、住みやすい社会の実現に向けた取組を進めていくことが重要であると考えているところでございます。こうした中、宇治市におきましては、令和4年の3月に第3期となります宇治市地域福祉計画を策定いたしまして、計画の基本理念でございます、一人ひとりが認め合い ともに支え合う 安心して暮らせる 地域共生社会の実現を目指し、関係機関、関係団体の皆様と連携しながら、地域福祉の増進につながる各種施策の推進に努めているところでございます。</p> <p>成熟社会を迎えまして、科学技術、情報技術の進歩といったものを背景として、人々の価値観が大きく様変わりして、地域の絆、人と人との絆が薄れつつあるという状況の中で、やはり安心して暮らすことのできる地域社会の実現は極めて重要な課題であると考えているところでございますけれども、本日の会議では、地域福祉計画に基づく取組の進捗状況等につきまして、委員の皆様からご意見やご助言を頂戴し、今後の市政運営に対応してまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては本日は大変限られた時間ではございますけれども、ぜひとも活発なご議論を頂戴いたしますことをお願い申し上げまして、会議開催に当たりましての御礼の挨拶とさせていただきます。</p> <p>本日は大変お世話になります、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局	<p>恐れ入りますが、川口副市長は公務のため、ここで退席させていただきます。</p>
副市長	<p>大変申し訳ございませんが中座させていただきます。 どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p><副市長、退席></p> <p>◆次第4 委員及び事務局の紹介</p>	
事務局	<p>つづきまして、委員の皆様にご自己紹介をいただきたいと存じます。 では、マイクをお回しいたしますので、順次よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;"><席順で自己紹介></p> <p>ありがとうございました。 なお、本日は迫委員、桶屋委員、西村委員、武藤委員、神野委員、藤田委員から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>続きまして事務局職員を紹介させていただきます。</p>

<事務局職員紹介>

事務局

つづきまして、委員の皆様にご報告させていただきます。

本委員会は「宇治市地域福祉推進委員会の会議の公開に関する要項」に基づき公開とさせていただきます。

また、委員会終了後、発言者名は記載せずに会議録を作成いたしましてホームページにて公開させていただきます。

それでは次に、お手元にお配りいたしております資料の確認をさせていただきます。

【資料の説明】

1. 次第
2. 資料1 宇治市地域福祉推進委員会 委員名簿
3. 資料2 宇治市地域福祉推進委員会設置規程
4. 資料3 推進のめやす 変更点
5. 資料4 第3期宇治市地域福祉計画
地域福祉推進のプログラム<推進のめやす> (案)
6. 資料5 地域福祉計画 評価表
7. 資料6 事前質問票まとめ
8. 資料7 令和5年度 主な推進施策について
9. 資料8 事前検討票まとめ

なお、事前に資料3、資料4、資料5は送付させていただきましたが、内容を一部変更しておりますので、本日お配りしている資料へ差し替えをお願いいたします。

<不備がないことを確認>

◆次第5 委員及び委員長代理の選出

続きまして、次第の5、委員長及び委員長代理の選出に移らせていただきます。

まず、委員長ですが、委員会設置規程第5条第2項では、「委員長は、委員の互選により定める」こととなっております。どなたか、委員長に立候補される方、またはご推薦はございませんでしょうか。

<委員、挙手>

委員

委員長につきましては、引き続き加藤委員にお願いできればと思いますがいかがでしょうか。

事務局

委員長を加藤委員に、とのお声をいただきましたが、他にご発言はございますか。

< 反対意見がない事を確認 >

事務局	<p>無いようですので、お諮りいたします。委員長は、加藤委員にお願いすること でよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">< 「異議なし」の拍手あり ></p> <p>ありがとうございます。皆様のご賛同をいただきましたので、委員長は加藤委員 をお願いいたします。</p> <p>加藤委員、委員長席へのご移動をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">< 加藤委員 移動 ></p> <p>続きまして、委員長の職務代理につきましては、委員会設置規程で、「委員長が あらかじめ指名」することとなっております。</p> <p>加藤委員長、いかがでしょうか。</p>
委員長	<p>委員長の職務代理につきましては、宇治市社協でも長年ご活躍され、大学で現 代福祉学の教鞭を執られておりました岡野委員に引き続きお願いしたいと思いま す。</p>
事務局	<p>ただ今、加藤委員長より、指名がございましたが岡野委員よろしいでしょか。</p> <p style="text-align: center;">< 岡野委員 承諾 ></p> <p>ありがとうございました。それでは、委員長職務代理は岡野委員にご就任いた だくことといたします。</p> <p>ここで、加藤委員長にごあいさつをいただきたいと存じます。</p> <p style="text-align: center;"><委員長就任あいさつ></p>
委員長	<p>皆様、改めましてこんにちは。</p> <p>この宇治市地域福祉推進委員会、昨年は計画を立てたところがございますが、今 回、また私が委員長の任を担うということになりました。</p> <p>奥西隆三民生児童委員協議会の会長様初め、本当に現場で汗を流しておられるそ うそうたる皆様方がおられますが、誠に至りませんけれども、皆様方のお力をいた だきつつ、任を務めさせていただきたいと存じます。</p> <p>福祉というものの根幹といいますか、ここには二つのものがあるというように思 っております。一つは、全ての人の人としての尊厳ということ、これが一点、そし てもう一つは、心の痛みを受け止めるという共感、この二つが根っこにあるように 考えます。</p> <p>しかし、一方で、先ほど川口副市長のご挨拶にございましたように、社会の紐帯 と申しますか、様々な縁が、ばらばらになっていっているという状況が、50年以上 前から顕著になってきております。</p> <p>その中で今申し上げました、人としての尊厳、あるいは、共感のつながりから外さ れた人たちが生まれてきております。</p>

委員長	<p>本当に、この地域の福祉というのは、重要な鍵を握っております。</p> <p>この尊厳と共感の縁を活性化していく、ということに向けまして、各委員の皆様方の、改めてのご指導をお願い申し上げまして、就任の挨拶にかえさせていただきたいと思っております。よろしくようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">< 委員からの拍手 ></p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、これより、会議の運営を委員長にお願いいたします。</p> <p>加藤委員長、どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p style="text-align: center;">◆次第6 第3期宇治市地域福祉計画の進捗管理方法について</p>
委員長	<p>それでは次第に沿いまして進行を務めさせていただきます。</p> <p>まず、第3期宇治市地域福祉計画の進捗管理方法について、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">< 資料3 資料4 資料5 について説明 ></p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>関連しますので、引き続きまして、事前に質問をいただいていることにつきまして、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p style="text-align: center;">< 資料6 について説明 ></p>
事務局	<p style="text-align: center;">< 資料5 について補足説明 ></p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>貴重なご質問をいただいたことを改めて御礼申し上げたいと思っております。ただいまの2つの説明につきまして、各委員から、ご意見、ご質問をいただきたいと思っております。</p> <p style="text-align: center;">(委員、挙手)</p> <p>はい。どうぞ。</p>
委員	<p>よろしくお願ひいたします。私の方からはですね。</p> <p>まず、感想としてですが、今回、資料5で、「地域福祉計画評価(案)」というものを、初めて出していただきまして、こういった数値目標を掲げて、それぞれ達成状況が一目で分かるような資料作っていただいたということについて、大変評価をしたいなという風に思っております。本当ご苦労さまでした。</p>

<p>委員</p>	<p>その上で、実はちょっと私は事前質問で、幾つかの項目を提案させていただいておりますが、ひとつは担当課からのヒアリングをしてはどうかということ提案させていただいております。</p> <p>それに対して、一応この回答の中では、言ってみれば、この推進委員会等での意見を聞いて、関係課や所管課と調整して参りますという回答のようなので、直接ヒアリングをするのはちょっとご遠慮願いたいということかと思えます。それはそれで私も理解はするのですが。要は、この地域福祉委員会で、点検していくという「数値の妥当性」、あるいはその数値が、本当に評価するのに値するものなのかという、そこについての検討を、できればその所管課の人と一緒にしたいというのが私の趣旨です。</p> <p>というのは、どうしてそれぞれの施策について、指標をどう、なぜこういう指標設定されたのかとか、あるいはその指標の持つ意味ですね。例えば相談件数が500件ありましたというのがあっても、正直言ってそれが多いのか少ないのか分からないのです。そういうことを理解するためには、例えば、「昨年度は300件でした。それが500件に増えました。だから、いわゆる相談をしたいと思う人たちが、速やかに相談できる体制をとっているのです。だから、評価してください。」ってということだとよく分かるのですが、それぞれの指標の数値の、なぜそういう数値を設定されたのかということが分からないと、その数値をどう評価していいか分からない。ということで、出来たらその所管、皆さんとヒアリングをさせていただいて、なぜそういった指標となるような数値を設定されているのかを伺いたいということです。</p> <p>それから恐らくそれぞれ所管課にはここに、目標年度、令和7年度で、一定の全体計画みたいなものがあるんじゃないかなと思うのです。</p> <p>各所管課ごとに全体計画の中で、つまり令和4年度はどういうふうにやりましょう、令和5年度はこういうふうに進めていきましょう、令和6年度はこうしましょうと、一定の目標に達成するためのアプローチがそれぞれあると思うのですが、こういうデータだけだとなぜそういう数値を目標とされているのか我々はなかなか分からないのです。だからそういう意味で、その辺りの数値の設定の根拠みたいなものを、全体計画があるなら全体計画の中で教えていただいて、それをもって評価するというをしたほうがいいのかと思います。</p> <p>また、資料5の数値の目標値について、この目標値は第6次宇治市総合計画で目標値として設定されているものなのですか？ちょっと私もそこまで把握出来てなかったんで今日初めて見たんで思ったのですが。</p> <p>例えば、1枚目3ページ目のところに緩やかな支え合いの③の項目の2つ目ボランティア活動センターの登録団体数ですが、基準値が令和3年、2021年度で基準値が51です。ところが、目標値を令和7年度で50減ってるんです。だから、目標が基準値を減るっていうのは、つまり「あんまり団体は増やさなくていいよ。」という考え方で、これ設定されてるとしか考えられないのですが、こういうように目標値が基準値を下回ってるというのは何かすごく違和感がありますね。</p> <p>普通であれば、例えば「ボランティアセンターの登録団体数をもっと増やしましょう。」ということが分かるのですが、これを「減らします。」という目標を設定されていること自体すごく違和感があります。</p> <p>なぜこういうような目標になったのか。例えば宇治市だといろいろな団体同士が減ってきているとか。そういうようなバックグラウンドがあって、目標するの</p>
-----------	---

委員	<p>は（登録団体数が）51が現状であるけれども、これから先団体どんどん減っていくので、50ぐらいにしとこうかみたいなことで決まったのか、そういったことも分からないと、評価が出来ないです。</p> <p>また、5ページの「⑤安心して利用できる相談体制や福祉サービスの情報提供」というところです。デジタルデバイド対策講座参加人数ですが、先ほど（の説明で）初年度非常に多くて639人も参加があって、目標達成率142%ということになっています。そうすると目標値の設定が450人が妥当だったのかってということがまずあります。</p> <p>低い目標だったのに、もう639人も来られて、達成率は142%になったから、もうこれで達成しました。来年度から特にやらなくていいですという、そういうものなのか、それとも、事業初年度で実績がなく、今後もやっぱり継続して増やしていくということを念頭に置くのなら、450人という目標値そのものが本当に妥当なのかどうかといったところを、やっぱり疑問に思います。</p> <p>そんなことで、私を感じた限りでは、ちょっと何かまだ疑問というか、今後こういう数値をどういうふうに選定していくかということについては、やはりこの地域福祉委員会でしっかりと議論を進めて、その数値の持つ意味を、一つ一つ、確認しながらやらせていただければ、私としては大変ありがたいなというように思います。以上でございます。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>事務局いかがでしょうか。お願いします。</p>
事務局	<p>はい。</p> <p>まずヒアリングについてのご意見をいただきました。ヒアリングを行うことで、こちらの意図していることの説明が届きやすかったり、その場で答えられるといったことは、確かにおっしゃる通りであるかと思うのですが、実際やっていくということになりますと、委員の皆さん、それからそれぞれの担当課のほうもやはり負担が少し大きくなってしまいう部分がございますので、ご理解いただけたらと思います。</p> <p>疑問点やご意見につきましては、この委員会を通じて出していただければ、また担当課にも伝えるとともに確認いたしまして、お答えさせていただくような形をとっていきたいと思います。</p> <p>それから提言のところ、目標値についてご意見いただきました。目標値ですが、基本的には第6次総合計画の第2中期計画の数値を落としこんでいるのですが、項目によりましては各担当課のほうで設定したものもございます。今回③のところ、目標値50に対して、基準値は51というご指摘をいただきました。ここにつきましても、第6次総合計画の位置づけの時点で、50になっていたのかちょっとその辺り確認が必要かと思いますが、通常であれば、目標値をクリアしている状況で、改めてご協議を再設定し直すというような形で修正していく部分がございますので、その辺りも含めて確認、検討させていただきたいと思います。</p>
委員長	<p>はい。ありがとうございました。</p> <p>ヒアリングについては、なぜその数値を設定したのかということについて、この委員会で、ご指摘いただいて、それを所管（課）に落として、所管からいただ</p>

<p>委員長</p>	<p>くと。2つ目の目標値については、委員さんのご指摘どおりでございますので、これは修正すべき点は修正し、やはり前向きな数値、チャレンジングな数値を上げていく必要があるということでございます。</p> <p>ほかにいかがでございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">◆次第7 令和5年度 推進施策について</p> <p>はい。それじゃまた、お気づきのことがあれば、戻っていただいても結構でございますので、次の議題に移りたいと思います。</p> <p>(次第) 7番目に挙がっている、令和5年度の推進施策につきまして、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p style="text-align: center;">＜ 資料7 について説明 ＞</p>
<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>今年度の施策につきまして、予算も挙がっておりますけれども、拡充事業、新規事業等々、説明がありました。各委員からご意見ご質問をいただきたいと思えます。</p> <p>いかがでしょうか。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>はい、お願いします。</p>
<p>委員</p>	<p>一つはまず、金額の多いものが載ってるという印象で合ってるのかっていうのが一つ、そして、優先順位の高いものが入ってるのだらうなと思ったのですが。特にひきこもりのところは、人数がどれぐらい増えてるかとかすごくやっぱ多いのかなっていう印象があるんで、何かそんな資料があったら、どっかに入ってるんだったらまた教えてくださいということでした。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>はい。</p> <p>事務局お願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。今回挙げさせていただいてる施策につきましては、単純にその金額が多いものを、優先して挙げたということではなく、地域福祉の取組として実施しているものも含めて記載をさせていただいております。</p> <p>下の2つにつきましては、これまでの取組をさらに拡充するような形で取り組むもので特徴的なものとして、2つを挙げております。</p> <p>ひきこもり対策事業につきましては、新規という形にはなってるんですけども、市民講演会ですとかそういったものは、以前からやっております、それに</p>

事務局	<p>併せて、ひきこもりのサポーターを養成していくというようなことを組み合わせましたので「新規」というような扱いでの表記になっております。</p> <p>また、ひきこもりの数等なんですけども、市の相談窓口のほうに相談される数については、若干の減少傾向にはなっています。ただ、ひきこもりというのがですね、なかなかその本人さんのほうからまたご家族も含めて相談をどこにしたらいいかわからない、もしくは、自分がひきこもりとして、問題に直面しておらずなかなか受け止められてないようなケースでございますので、そういった本人や家族に向けて、市のほうで相談窓口があったり、また支援団体が、こんなところでありますというようなことも含めて、支援マップというものを作成して周知を図っているところです。</p> <p>そういったことも含めまして、今後ですね、相談件数についてももう少し伸ばしていけるように取り組んでいきたいというように考えております。</p>
委員長	<p>ほかにいかがでございますでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは、これにつきましてもまたお気づきのことがあれば、戻っていただいて結構だと思いますので、次の議題でございます。</p> <p>◆次第8 令和6年度 推進施策について</p> <p>次年度、令和6年度の推進施策について挙げております。</p> <p>これにつきまして、ご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>< 資料8 について説明 ></p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>この資料8には、いずれもなかなか魅力的なご提案が上がっております。</p> <p>担当課にこれは前向きに取り組んでいただけますように、ぜひともお願いしたいものであります。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>はい、お願いします。ご提案ですか。</p>
委員	<p>提案というか、説明をちょっと。</p>
委員長	<p>はい。</p>
委員	<p>失礼しました。すいません。私ちょっと勘違いして、資料8に挙げている1番と2番は私が提案したものでございますが、令和6年度にこういう施策をやってほしいということよりも、今現在こういうことに取り組んでいますという紹介</p>

<p>委員</p>	<p>のつもりで出させてもらいました。つまり、行政にこれをやってくれということで私が提案したものではなくて、今、私が個人的に活動している中で、1番と2番を、今現在「それに向けて取り組んでいるよ。」ということをお皆さんにご説明をさせていただくための資料として加えさせていただいたものです。</p> <p>簡単にご紹介しておきますと、1番は皆さんご存じだと思いますが、ひとり親家庭やあるいは子供食堂などで、地元産の野菜を地産地消で使えるような仕組みが出来ないかなって思うように思っております。</p> <p>農家の方とお話をしていると、例えば曲がったきゅうりはなかなか売り物にならないとか、ナスも傷がついてると売り物にならないと。そういうのをどうしておられるかと聞いてみたら、例えば農家の方が、宇治市役所に行って、非常に安い価格で販売されたりしているのです。</p> <p>でも、多くの物が実は売れなくて捨てられていると思います。そういう捨てられているような農産物、地域の方が、精魂込めて作られても、やっぱりきゅうりは曲がったりすることもありますし、ナスは傷が付いたりすることもあるんですよ。だからそういう地域の資源を、せっかくなので、地域で皆さんで何とかうまく使えるようにしようじゃないかと、いうことを今考えていまして、農家の方と、そういう子供食堂などをやっておられる方、あるいはひとり親家庭の支援をされてる団体の皆さんと一緒に、地域でつくられたものを地域で消費する、そういう仕組みを作りましょうということで今私個人としてはいろいろ動いておりますので、出来たらこういう地域福祉推進委員会の皆さんと、一緒になって、こういうことを取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をお願いしたいという趣旨で、提案させてもらったものでございます。</p> <p>それから2点目です。</p> <p>実は南部小学校で、私が聞いている限りでは、6年生の男の子でちょっと、脳腫瘍があって最近手術をされたらしいんです。その方に麻痺が残りまして、学校生活も、通常の形生活出来ないで車椅子での学校生活になるというふうに聞いてます。その方が確か10月2日から、南部小学校に復帰されるんですけど、学校生活を送るのには、当然その方だけでは出来ないでいろんな地域のサポートが必要だと思います。</p> <p>それで、地域の地域コミュニティースクールのコーディネーターという方がいらっちゃって、それが私の友人なものですから、その方から「出来たらちょっと手伝ってよ。」という声がありまして、それで私もいろいろと、南部小学校の近辺の方に声をかけて、その男の子が学校生活していくのに、例えば車椅子の介助であるとか、あるいはトイレ行ったりするときのトイレの介助であるとか、そういったことを具体的に支援できる、そういう仕組みをつくろうということで今取り組んでおります。</p> <p>聞いてみると南部小学校でそういうことをやるのが初めてらしいです。だから学校のほうもどう対応していいか分からないというところがあって、例えば4階建ての建物で、6年生がいつも1番上の階だったんですけど、6年生の教室を、例えば1階に下ろしてもらおうとか、そういうようなことでも取組が進められつつありますし、いずれにしても、小学校6年生の子が、来年の3月まで、学校生活をちゃんとできるように、地域でサポートしようじゃないかと、いうようなことは今進められていまして、出来たらそういう地域福祉推進委員会の皆さんも、そういうことを、知ってもらえたらということで、提案させてもらったものです。</p> <p>以上でございます。</p>
-----------	---

<p>委員長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>1 番目の食堂のことを、「地域の冷蔵庫」というのは、非常に魅力的なネーミングでありますね。ボランティアアクションのとても大事な好事例だろうと思いますし、(2 番目の) 南部小学校の件も、やはり、様々なサポートとサービスの重層化という意味では、非常に好事例だろうと思いますので、こういったものを、施策面でも、あるいは、ボランティアアクションにおいても、より広げていけば、ありがたいかなと思います。</p> <p>貴重な提案でございます。他にどうでしょうか。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>本日予定した内容は以上でございます。議案は以上でございますが、この際、各委員で全体を通して、発言したいという方はおられませんでしょうか。</p> <p>今日初めてご出席の委員さんはどうでしょう。何か、もしあれば。マイク使ってください。</p>
<p>委員</p>	<p>私は初めてなのでまだ勝手とか分かってないのですが。先ほど委員がおっしゃったように、資料 5 の数値の話、評価の話は、(委員が) 言われて、私もそのとおりだなと思って。どうして目標値がこれなのか。それが理想、こうやったほうがいいよってということですから、こうなりたいなということで設定したものなのか、あるいはこの分野はちょっと下火だからこれくらいが限度かなあというふうを設定したのか。</p> <p>そこら辺が分からなくてですね。それが分かると、これはすごい出来てるねと、あるいは出来てないということが評価できると思うのです。先ほどの話で、ヒアリングについては話があったとおりでなんです。例えば、今のような表に目標値を設定をした理由とか、最近の傾向とか、そういったものを個別に説明書きをいただくとそういう趣旨でつけた目標なのかなというのが、読んですぐ分かると思うので、ヒアリングをするとお互い相当負担があるので、書面にまとめるとなると職員の方の負担にはなりますが、そういう形でまとめていただくと山上委員がおっしゃったようなヒアリングを一部でも代替できるのかなと感じました。</p>
<p>委員長</p>	<p>ありがとうございました。初めての委員で、どうでしょうか。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>はい、どうぞ。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、お願いします。</p> <p>この事例検討の 3、4 は私が出しまして、3 の外国人向けの発信の強化っていうのは、以前私は福祉業界に 18 年ほどおりました、京都市の東山区で働いていたときに、水害であったり、外国人の方のいろんな観光客の方から、いざ地震や災害に遭ったときにどこに逃げ込んだらいいのかっていうのが問題になったことがありました。最近ではオンラインで日本語のボランティア支援の先生をやってまして、その際に、地震や緊急時のことも考えながら、日本にやってくる外国の方も増えてまいりました。</p>

<p>委員</p>	<p>先日、京都市国際交流会館に行きましたときに、多国籍のいろんな、英語、中国語、韓国語などのこういう小さいサイズのマニュアルを、財布に入れてもらえるような形でつくってあるというのを聞いてまいりました。宇治市でも何かのときに、そういうものを外国の方に、緊急のときはどういふふうに対応していったらいいのかっていうのをお知らせできるようなものがあれば、安心して生活できるんじゃないかなというふうに思いました。</p> <p>それと4番の介護保険についての件です。以前ケアマネジャーをしておりましたときに、自分でこういう介護を受けたい、こういう人生を歩きたいというのも介護保険の支払い負担のある40歳ぐらいからの準備という意味で、セミナーであったり、冊子的な簡単な内容であったり、情報があれば、ケアマネジャーさんも慌てていろんな事業所とかいろいろサービスを探して走り回らなくても、「私はこういうことをして、こういうところを助けてほしい。」と言えるような仕組みというのがあると、本当に安心して安全に生活していけるということにつながっていけるんじゃないかということを感じました。</p> <p>もう一つ、5番目の介護の居場所づくりというんですが、私も親の介護で一旦職を離れまして、1市民として今生活してるんですが、近所の人とご挨拶をすると、「お元気ですか。私のところはこういう状態なのよ。」というような相談をそれぞれにされていて、「どこに言いに行ったらたらいいいんだろう。どうしたらいいんだろう。」とか、すごくストレスを抱えながら生活してらっしゃる方が多いのでそういう人たちの逃げ場所というか、居場所。介護をしながら出向くのはなかなか大変なんだろうなというふうにも感じながら、そういうことを実際にやってもらえへんかって言われて、今計画中ですが、私のマンションのところで、ふれあいの会をやっていまして、そこで介護の研修をやってほしいという依頼もありました。みんなでそういう時の助け合おうね、という会をつくっていきないうように今私自身は感じています。空き家がたくさんあるというお話も聞きますので、市としてもそういう場所も、何か役立てられる方法はないかなというところで提案させていただきました。</p> <p>以上です。</p>
<p>委員長</p>	<p>どうもありがとうございます。委員は日本語ボランティアをされているということもお聞きしましたので、今後大いに期待しております。いろいろとご提案、ご意見をお願いしたいと思います。</p> <p>外国人向けの発信の強化についてです、外国にルーツのある方は、情報のアクセシビリティが機能しないことがありますので大事なご指摘だと思いますし、平常時からの災害時に向けてのことも関連しますが。</p> <p>委員、外国にルーツのある方からの発信というものも大切ですよね。</p> <p>(外国の方に対して) 届けることばかり考えますが、むしろ発信してくださることが大事で、そのサポートが大切でしょうね。</p> <p>介護保険に関することについても大事なご指摘でありました。</p> <p>(事務局 挙手)</p> <p>はい。お願いします。</p>

事務局	<p>介護保険に対して貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました。</p> <p>確かに40歳ぐらいの頃から、そういう準備を進めてくださいということは大事なことかなあというように今聞かせていただきました。特に我々がいま思っておりますのが、地域包括支援センターの、そういうことがあること自体も、あまりご承知いただいてないという現実がございまして、まずはそういうところを知っていただいて、ここなら、またすぐに相談に行けばいいんだとかですね、そういうことを、まずは早いうちから、ご承知いただくことも大事かなということで、できるだけそういう若いときから、そういう周知啓発を図っていきたいなと考えております。</p> <p>介護保険に関しましては市政だよりの中に、介護保険だよりのということで、年3回発行させていただきまして、全戸配布の機会なんかを通じて、ダイレクトにできるだけ周知を図っていきたいなというように思っております。</p> <p>それから居場所づくりですが、確かに家族のご負担っていうのは非常に大きいものがございまして、レスパイト的な要素で、そういうとこ大事なかなあと思っています。</p> <p>市内には介護者家族の会ということで、そういう方が集まっているいろんな情報交換されるそういう会もございまして、いろんな機会でそういう介護者の立場での理解の促進とか、相互交流ということも大事なことかなと、認識したところでございます。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございました。心強いお話でありました。</p> <p>他にどうでしょうか。何か、こういう機会に。</p> <p>(委員、挙手)</p> <p>はい、どうぞ。</p>
委員	<p>本来なら、質問をたくさんするのですが、今回は、事務局に文句言ったら怒られるかもしれないのですが、質問の内容が、事業内容ではなくて進捗の管理方法に対する質問という形でしたので、いくら考えても、判断のしようがなく、私にはちょっと分かりませんでした。そのため、今回（事前質問票を）ださなかったのです。</p> <p>それよりもやっぱり今、具体的に今の現状ですけども、町内会において、現実には、買物難民（の問題が）今あります。その問題も具体的に、今、徳洲会病院のバスを循環して、試行でやっています。私も興味はありますが、まだ1回も使ったことがありません。</p> <p>うちの町内会だけでそのバスを登録してるのは56人です。以前は町内会のバスが走っていましたが、残念ながら今は走っていません。</p> <p>(宇治市役所を指して) ここへ来るのも、雨が降れば交通の便がないのです。雨が降れば、私は今槇島におりますが、小倉駅まで20分歩いて、それから近鉄線に乗って大久保まで出ます。そこからバスに乗って市役所まで来ます。</p> <p>市役所までの直通のバスが全然ないのです。</p> <p>予算もあるだろうけれども、交通の便の、そういう施策をきちっとやるべきことは網羅していかないと、買物難民の問題も、今、取り組んでいますが、こんなことを言えば怒られるかもしれませんが、多分通らないんでしょう。そんなに利</p>

委員	<p>用客がないので費用がかかる。お金も要る。その金をどこから出すのか。そんなお金は町内会には出せない。町内会の加入者数も減ってきています。今まで600件あったが今、400何件です。</p> <p>全体的なことを考えて、現実には自分が住んでるところのまちを良くしていこうという形であれば、自分らが自分らで守っていくしかないのです。奥西委員がおられますが、私も民生委員をさせていただいています。今そんなチームでも、担当の分野も増えてきています。解決できる範囲内でやらせていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>本当に地域で一生懸命、地域づくりに関わってご貢献いただいている方でございまして、今町内会自治会が非常に弱くなってるっていうご指摘がございましたけれども、これもこの委員会の非常に重要なテーマになってくるかと思ひます。</p> <p>何か事務局ございましてしょうか。</p> <p>防犯防災を含めての町内会自治会を元気にしていくということで、テーマをお持ちだと聞いてますが。</p>
事務局	<p>委員長からご指名いただきましてありがとうございます。</p> <p>委員長の方も常日頃から気にかけていただいております、先進的な自治会のところにもお話を聞かせていただいたという経過もございまして。</p> <p>やはり近々の課題といたしましては、やはり自治会でも言っておられたのは、自分らの地域を自分らで守るということをおっしゃってたのです。それがやっぱりスローガンみんな頑張ろうねっていうことを言っていたんですけれども、そこに行政としてどのような関わりができるのかというのは絶対に重要なことだとは思っております。</p> <p>やはり自治会の方は、自治会で頑張りたいというのは、本当に思うところでございまして、行政としても、いろんな分野、福祉であり、そして、危機管理、防災であり、そして学校にしっかり、子供にしっかり、ご高齢にしっかり多岐にわたる、それこそいろいろと複合された地域の事情というものもあるということも認識しているところでございまして。そこはやはりこれからの行政の課題といたしまして、いわゆる横連携ですね、ずっとこの間も言われております。縦割り行政の弊害ということは、もう昔から言われているところでございましてそれをいかに取っ払って、横との連携、そして市民の方が頑張りたいことにつきましても私どもがどんな支援ができるかというのは常日頃考えていく中で、連携して進めていかなきゃいけない、これをしっかりと踏まえた上で、いろいろと考えていきたいなということを思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
委員長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>ぜひとも、その地域の現状をしっかりと把握して、地域の悲鳴も含めまして、そしてそれを共有化していく。</p> <p>あるいは、地域で頑張っている好事例を共有化していくということも、この委員会で取り組んでいきたいものだなと思ひます。</p> <p>いろいろ本当に貴重なご意見をいただきましてありがとうございましたけれども、また、本当にメモの形でも結構でございまして、お気づきの点、事務局に移行していただ</p>

きたいと存じます。

最後にちょっと私のほうから、簡単なコメントをさせてもらいたいと思っております。少し、以前、神経学会という、精神科のお医者さんの、明治時代からある学会であります。そこに、何とか審査が通って3月に掲載させてもらったものであります。

表題が「全ての人が生きやすいインクルーシブな地域のビジョン、それと、実現方法に関する試論」ということを書かせてもらっております。

今日、進捗状況の検討がございました。これまで各課が取り組んできたその計画がどの程度遂行していったか。これについては、星印(★)で表現するというようにさせてもらうことになりました。

一方で、その取組がどんな効果があったのか。その狙いとする、どう、達成出来たのか、そこについてはですね、各取組のクラスターと申しますか、項目の関連を、全体的に評価するということがないと、ちょっと同じように星印(★)では無理だろうということが、各課から出てきたと伺っております。

そして、この本日あったような資料5に、評価ということで、いくつかの項目を総合して評価が、文章で行われたということでありまして、これはこれで、大事な進展ではないかなと思います。もちろん、今日、ご意見がございましたとおり、厳しいご意見もありましたけれども、始まったばかりですので不十分なところがあり、その点、まさにこの委員会でしっかり、「この点はもう少ししっかり評価すべきではないか。」あるいは、「最低限する必要があるんじゃないか。」っていうことも、ぜひともここでお願いしていきたいというものだなと思います。

この今お配りしました、精神障害者のめぐる政府の施策でございますが、精神障害者にも対応したという、「にも」包括という、「にも対応した」という何かつけ足しのような表現でありますけれども、こういう政策が、地域包括ケアシステムという施策が行われている。これはあくまで「サービスの総合化」でございますね。先ほども最初にご挨拶申し上げましたように、人々のつながりの重層化や、充実ってということとは少し違う。その点を一つ書かしてもらってありまして「レジリエンス」っていう、言葉が出てまいります。レジリエンスっていうのはですね、ストレスで傾きかけたら、例えば船が元に戻る力、「元気の回復力」のようなものとしてとらえておかれたらいいかなと思うんですが、精神科のお医者さんの世界ではそれが、その人の個人の能力としてとらえられがちだったので、それを少し批判させてもらいまして、むしろ、「レジリアンス」つまりゆりのようなもので、これはむしろ社会のものとしてとらえる必要があるんじゃないかということ強調させてもらっております。そして、結論として何を書いてあるかと申しますと、先ほど西委員さんがおっしゃった「居場所づくり」なんです。

居場所、あるいは対話の場というものが、幾つかの次元があるのではないかな。

居場所も、本当にくつろげる居場所、親密圏な場所、それから、カフェのようなパブリックに公的な場所にちょっと半開きになった居場所、そしていろんな人々等の交流の居場所、社会的な居場所、あるいは、命の世界の中での居場所みたいなことを最後に書かしてもらってそういったもの、総合的なところでもって、改めて、地域の居場所というものも、あるいは地域での対話ということも考えていく必要があるのではないかということ、稚拙な文書ではありますが書かしてもらっております。

<p>委員長</p>	<p>社会のつながりを断たれ孤立している人にとって、待ち受ける相談だけではとても、その人のアクセスは望めません。その人の側に寄り添って、出かけて行って寄り添って、心を開いてくださるのを待って、そういう信頼関係をつくり、気持ちを受け止め、ニーズを受け止めていくと。それを様々な支え合いやサービスに結びつけていく。そういった働きが、今非常に求められている。それも、我々のこの地域福祉の計画の進捗管理に非常に関わってくるのではないかなと。</p> <p>今日、皆様方の非常に貴重なご意見をいただき、改めて、教えられた次第でございます。</p> <p>本当にありがとうございました。</p> <p>それでは、進行のほう、以上で、事務局のほうにお返ししたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆様本日は、活発なご意見いただきましてありがとうございました。</p> <p>まずこの数値目標の取り方については、確かに我々も本当に悩んで、たくさんある事業の中でどの数値をとるのか、というのは、柱の取組内容を照らしながら考えをしたものの、やはり実際目標値を立てているものがあるのかどうかとか、なかなか数値化しにくい取組もあったりする中で本当に悩みました。</p> <p>今回、なぜそこをとったのかっていう説明がないというご指摘は、まさにその通りだと思いますので、我々としても改めまして、本当は継続的にやっていかないといけないのですけれども、そういう視点も含めて、この数値目標をどう設定するのかということについても、改めて検討させていただきたいと思います。</p> <p>それから、本日もいろいろと先進的なのか好事例の地元で取り組んでいただいている事例というのをご紹介いただきました。本当に地域のつながりが、従来型のつながりが薄くなってきたという中で、そういったテーマごとでつながっていくという、それを広げていくというのも本当に重要だと思っていて、そういった好事例の周知とか、そういった取組を広く市民にお知らせをさせていただいて、それを各地域に広げていくのも行政の仕事の一つだなと思った次第でございますので、またそういったことにつきましては、我々としてもやれることはやっていきたいと思っております。</p> <p>以上、その他たくさんご意見をいただいたのですが、なかなか全てここで申し上げることは出来ないのですが、本日もいただきましたご意見につきましては、改めて検討させていただいて、次回以降に反映できるようにしていきたいと思っております。</p> <p>次回、第2回につきましては、年を明けて1月か2月あたりで、また日程調整をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p> <p>(終了)</p>